

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名 後藤一男						
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	総務課	担当者名 栗木清智						
	基本事業	1	災害の未然防止対策			所属班	交通防災班	(内線) 1223						
予算科目	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業連番	10023	法令根拠	消防組織法	成果優先度評価結果	8
													コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S22 年度)		期間限定複数年度 ( ~ 年度)								

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	適正な車検、定期点検の実施。消防団員に月2回の点検を指示。故障時の早急な修繕対応が可能。積載車および小型ポンプの整備に伴い、適切な環境維持と緊急時に即対応できる管理が必要。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	車検表および定期点検表の作成、周知、検査の実施、支払い。消防団員に対する月2回の点検の実施徹底、故障の早期発見、修繕、支払。
【主な予算費目】	需用費(修繕費) 役務費 公課費
【意見や要望】	特に意見や要望等はない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
車検・定期点検を実施。消防団員による月2回の点検を指示した。故障等に対する修繕。	車検・定期点検の実施。消防団員による月2回の点検指示。故障等に対する修繕。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 車検実施台数 台	イ 修繕台数 台
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
消防車両 小型ポンプ	⇒ ア 消防車両 台 イ 小型ポンプ 台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
災害時等の緊急に即対応できる状態を保つ。	⇒ ア 修理が必要となった車両数 台 イ 修理が必要となったポンプ台数 台
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
成果指標設定理由: 災害等の緊急時に即対応できる状態を保つため。 平成22年度目標値設定根拠: 過去2ヵ年(H20、H21)の実績値の平均	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	台	18	25	17	17	27	17	27
	イ	台	2	1	1	2	1	1	1
⑤ 対象指標	ア	台	46	46	46	46	46	46	46
	イ	台	46	46	46	46	46	46	46
⑥ 成果指標	ア	台	2	1	1	2	1	1	1
	イ	台	0	6	0	5	5	5	5
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	2,142	3,768	2,652		3,768	2,652	3,768
	(A) 事業費計	千円	2,142	3,768	2,652	0	3,768	2,652	3,768
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	210	140	140	150	150	150	150
	(B)人件費計	千円	834	560	557	597	597	597	597
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,976	4,328	3,209	597	4,365	3,249	4,365	

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)  
0  
0  
0

事務事業名	消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

適正な車検、定期点検の実施。消防団員に月2回の点検を指示。故障時の早急な修繕対応。  
車検(17台)、定期点検(27台)の実施。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

### (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策